

エッソ・フォーミュラトヨタ シリーズ第10戦

■ 11月21日 フリー走行1日目 DRY 富士スピードウェイ

シリーズもいよいよ最終戦になり、今回のレースで今年の全レースが終わります。自分に残されたチャンスはこの1戦という気持ちでレースに挑みました。

この富士スピードウェイは開幕戦でも走ったことのあるサーキットなのですが、開幕戦のときは気候や、気温など周りのコンディションが全然違う次期なので、最近行われたレースの車載ビデオなどを見て、自分の中で走るイメージを確認しながらサーキットに入りました。

走り始めてからこの日はラインどりやブレーキングのポイントなど徐々にためていき、開幕の時の思い出しながら、自分のイメージと重ねて走りました。けれど2本目に入っただけで、自分のマシンはドライブシャフトが折れるというトラブルが起きてしまい、この日はそのまま走行を終えることになってしまいました。結局チームメイトから0.4秒落ちくらいのタイムだったのですが、走行後データを確認した結果、3・4速のギヤの違いからストレートでもかなりの差が出来てしまっていたので、明日はそのギヤを変えてもらって走るようになりました。

■ 11月22日 フリー走行2日目 DRY

このセッションから少しずつセッティングを詰めていく作業に入ります。まずは100Rでリヤが唐突に出る感じがあったのでリヤのスタビを硬くしてみたのですが、逆にもっと唐突になってしまったので、今度は軟らかくして乗ってみるとリヤが落ち着いた感じで乗りやすくなりました。そしてヘアピンの立ち上がりではアンダーを感じたのでリヤの車高を少し上げていくことでその問題も解決できました。

最終的にこの日はトップから0.6秒落ちの7番手くらいで終えたのですが、チームメイトが4番手でその差は0.3秒。走行後にその差をデータで確認した結果、最終コーナーのひとつ前のコーナーまでは同タイムで来ていたのですが、最終コーナーだけでその0.3秒の差がついてることがわかりました。なので次の走行のときは最終コーナーで「いっぺんにアクセル全開にならなくてもいいので、出来るだけ早くからアクセルを開けていくにはどうしたらいいか？」ということを課題にして乗りたいと思います。

■ 11月24日 フリー走行3日目 WET→DRY

この日は雨は降っていませんでしたが、朝降っていた雨の残りで1本目はWETの走行となりました。

この走行ではまず、ドライに比べて、ギヤを変えた方がいいところやラインを変えた方がいいところなどを探しながらの走行になりました。徐々にブレーキを詰めていったり、WET用のセッティングを変更しながら走った結果、チームメイトより0.7秒ほど速いタイムで走ることが出来ました。けれど雨の中の走行ではちょっとした操作のミスが大きく影響するWET路面でのブレーキングなど課題も残る走行でした。

2本目の走行からはDRY路面になったので、前回の課題であった最終コーナーを重点において走りました。前日に自分なりに考えたラインで走ってみたり、ブレーキの使い方を変えてみながら乗ったのですが、その差が中々縮まりません。チームメイト以外のドライバーともタイムなどから比べても最終コーナー前まではそんなに差がないのですが、やはり自分が苦手な最終コーナーとその前のコーナーが極端に遅いことがわかりました。なのでまずはブレーキで詰めることよりも、立ち上がりの方で少しでも早くからアクセルを開けるように考えて走ってみました。すると追い付きはしなかったのですが、走り方としては少しずつそういう走り方が出来るようになってきました。

最後のセッションでは予選のセットを決めるために各ドライバーがNEWタイヤを履いてアタックを開始し始めます。自分もセッティングを変えながらNEWタイヤでアタックをしたのですが、周りに比べてNEWタイヤでのタイムの上がり幅が少なく、最終的に21台中10番手という順位で全部の練習を終えることとなりました。

■ 11月25日 公式予選 DRY

予選11番手

この日は天気もよく、完全なDRYコンディションの中20分間の公式予選が始まりました。前日にNEWタイヤを履いたときはヘアピンでのアンダーをなくす為にリヤのスプリングを少し硬くして行ったのですが、それが他のコーナーで乗りにくくなったので、セッティングを戻して予選に挑むことになりました。

アタックを開始して3周目には前日のタイムが出せたのですが、そこから続けて2周ほどアタックしても中々タイムが上がリません。そこでクールラップを挟み、一度落ち着いてから昨日の最終コーナーでのイメージを思い出します。そこから再度アタックを開始したのですが、今度はクリアラップが中々取れず、他の車にひっかかってしまいました。それでもなんとかタイムをあげることができ、最終的に11番手で予選を終えることとなりました。けれどこのベストラップの周も大きく失敗したコーナーがあったので、まとめさえすればもっとタイムをあげれたと思います。それとこの富士スピードウェイの特徴として、ストレートが物凄く長いことがあげられます。なので、この予選でもストレートで他車のスリップストリームを使えば一気に0.3~4秒ほどは稼げたと思います。予選の最終ラップにはそのチャンスがあったのですが、後少しというところで上手く使うことが出来ないまま予選を終えてしまいました。今回ポールを取ったドライバーは僕のスリップを使ってタイムをあげて来たので、そういう面でも自分のための甘さを感じた予選となりました。

■ 11月26日 決勝 WET

決勝 16位

この日は前日とは打って変わり雨模様の中、決勝の時間を迎えることになりました。自分としては、WETの練習走行でいい感触を受けていたのでこれはチャンスだと思い自然とテンションも上がってきます。そして、決勝の時間が始まる頃には雨の量も増え、特別に5分間のフリー走行が設けられることになりました。金曜日のWETのときは雨の量なども全然違ったので、その5分間で車の状態を確認してセッティングの変更をしていきます。そしてコースインの周ではブレーキを多用してホイールの熱でタイヤを暖めることを意識し、フォーメーションでは車を横に振ってタイヤの表面を暖めながら、グリッドに着きました。そしていよいよ今年最後のレースがスタートします。シグナルに集中し、シグナル・レッド、消灯、スタート！！

ホイールスピンは若干あったものの、タイミングも良く、2-3台をパスして、1コーナーへ。水しぶきで全く前が見えない状況だったので始めは少しブレーキングなども余裕を持って無理はせず、後半の追い上げを考えました。1周目を8位で通過し、とりあえず順位をキープして中盤に入ります。徐々に前の選手に追い付き、後少してブレーキング競争できる状態になった1コーナーでブレーキで行き過ぎてしまい、コースアウトしてしまいました。すぐにコースには戻れたものの、1台にパスされ9位へ。そこから自分の弱いところが現れ、どんどん焦ってしまいます。それでも少しずつ前の選手に追い付き始めたのですが、またも1コーナーでコースアウト。次には100Rでスピンして、また1つ順位を下げます。そして、バックストレートエンドでも行き過ぎてしまい、一気に2台に抜かれ11番手までポジションを落としてしまいました。

そこからは一旦落ち着こうと思い一つ一つの操作を丁寧に、気持ちも切り替え集中しなおしました。すると徐々にタイムも上がり、前の選手に追いついてテールトゥノーズ状態のまま3周にわたりプレッシャーをかけ続けます。けれど抜くことは出来ず結局11位でチェッカーを受けることとなりました。

しかも、一回目にコースアウトしたときが黄旗区間だったのでペナルティーの対象となり、チェッカー後レースタイムに1分加算という裁定をうけ、16位という結果になってしまいました。

今回のレースは僕の過去のレースの中でも1番情けないレースをしてしまいました。

いつもそうなのですが、自分で「大事なレースだ！！」と思うときに限って、変なところに力が入ってしまい、大きなミスに繋がってしまいます。走る技術もまだまだ全然足りないのですが、そのことよりも自分のメンタル面の弱さがシーズン中盤から全然成長していないことが1番悔しく、情けないです。

そんな自分を1年間いろんな形で応援して頂いた、スポンサーの皆様や服部尚貴様、レプリスポーツの皆様を始め、沢山の関係者の方に感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。それと同時に思うような結果を残せず、沢山の方に迷惑をかけてしまい本当に申し訳ありませんでした。

来年の活動については、どのカテゴリーにどのような体制で出場するかなども含め、まだ何も決まっておりませんが、絶対に諦めず、自分の夢を追い続けるつもりです。今年1年自分のメンタル面の弱さや技術的なことも含め、来年への課題が山積みです。それをひとつずつしっかりクリアして、来年の活動に繋げていきたいと思っておりますので、これからも引き続き、ご指導、応援の方よろしく申し上げます。

Team NAOKI with LE PRIX SPORT

吉田 広樹